

資料

朝鮮半島問題・日韓関係をめぐる
主要地方紙社説一覧（1960～1965年）

梶 居 佳 広

1965年6月22日、「日本国と大韓民国との間の基本関係に関する条約（日韓基本条約）」が締結され日本と韓国（大韓民国）は国交を樹立した。ただし、1945年の日本敗戦＝朝鮮植民地支配終了から外交関係樹立まで実に20年かかった事実からも明らかなように、両国の国交正常化は植民地支配や南北朝鮮の分断、東西両陣営の冷戦（アジアにおいては「熱戦」であったが）を背景とする幾多の障害・難問を乗り越えた末に実現したものであり、また最終的に国交樹立を最優先したがため日韓双方とも不満を残す内容であった。国交樹立から50年を経過した現在、いわゆる「歴史問題」をめぐる対立などにより日韓関係は「過去最悪」といわれる状況に陥っているが、そもそも国交樹立時に現在の状況につながる問題が潜んでいたということもできよう。

今回紹介する「資料」は日韓国交樹立時、一般国民の世論形成に一定の影響力を有する日本の各新聞が日韓問題ないし朝鮮半島をめぐる問題についてどのような議論を展開していたかを知る手掛かりとして、これらの問題に関し掲載された社説・論説名を一覧にしたものである。時期的には1960年7月20日から条約が批准された1965年12月までとした。1960年7月20日に起点を置いたのは、前日に池田勇人内閣が発足したことによるが、それ以上に韓国において李承晩政権が「4.19革命」、日本において岸信介内閣が「60年安保」で倒れ、その後新たに発足した政権の下、日韓関係改善の機運も生じるようになった事実を重視したからである。もっとも、題名のみを一覧にしたものに過ぎないため、当然具体的な議論はこれだけでは解らない。ただ、掲載された社説・論説の数をおさえることで各紙のこれら問題への関心の度合いをある程度知ることができる。社説（論説）の場合、題名・見出しだけでもその内容、主張、立ち位置がある程度解る場合が多い。従って、このような社説一覧も意味があるのではと考えた次第である。

以下、採録した新聞や掲載数から示唆されることについてごく簡単にまとめていく（なお本格的な議論整理・分析は別稿で展開する予定である）。

今回収録した新聞は所謂「地方紙」に限定した。周知の通り、日本の新聞は東京・大阪で発行され日本全国をカバーする全国紙（『朝日新聞』『読売新聞』『毎日新聞』『日本経済新聞』『産経新聞』、以下『新聞』は省略）と地方紙に区分されるが、一般には全国紙（特に『朝日』、『毎日』、『読売』の3大紙）が注目されるのが現状で日韓問題と新聞に関する先行研究も全て全国紙のみを検討対象としている¹⁾。全国紙は（『産経』を除いて）縮刷版が存在し、『朝日』『読売』になると過去をさかのぼってのデータベース（『開蔵Ⅱ』『ヨミダス歴史館』）も完備しており、比較的容易に社説記事を検索、整理、分析することが可能な状態となっている。しかるに今回対象とする1960年代についてみると、日韓条約締結の1965年において全国紙1452万部に対し地方紙1228万部。全国紙54%に対

表1 1960年 主要地方紙部数（全国3紙＝朝日385万，毎日354万，読売233万部）

① 50万部以上	
中部日本新聞	1,131,236
北海道新聞	728,396
東京新聞	653,026
西日本新聞	518,000 (1961年)
② 20万部以上	
神戸新聞	324,711
中国新聞	321,400
大阪新聞	318,323
京都新聞	300,500
山陽新聞	272,380
北國新聞	252,445
北海タイムス	250,000
河北新報	232,658
信濃毎日新聞	204,500
新潟日報	209,086
③ 15万部以上	
南日本新聞	190,864
愛媛新聞	175,172
熊本日日新聞	165,550
④ 10万部以上	
北日本新聞	140,580
大分合同新聞	137,238
東奥日報	136,308
福島民報	134,941
高知新聞	133,837
静岡新聞	129,854
山形新聞	126,312
フクニチ	125,873
長崎新聞	124,487
徳島新聞	114,468
神奈川新聞	113,850
秋田魁新報	110,800
福井新聞	103,000

■ は新興・復興紙
日本新聞協会編『日本新聞年鑑 1961年』（電通発行，1961年）

表2 1965年 主要地方紙部数（全国3紙＝朝日495万，毎日391万，読売294万部）

① 50万部以上	
中日新聞	1,226,455
北海道新聞	725,576
西日本新聞	632,284
② 20万部以上	
東京新聞	359,102
神戸新聞	322,229
京都新聞	314,197
中国新聞	304,948
河北新報	253,912
山陽新聞	245,503
静岡新聞	236,000
北國新聞	232,363
信濃毎日新聞	211,731
新潟日報	208,254
③ 15万部以上	
北海タイムス	181,777
南日本新聞	178,683
北日本新聞	168,000
愛媛新聞	160,132
大阪新聞	150,000? (1963年156,032)
④ 10万部以上	
熊本日日新聞	148,739
神奈川新聞	132,000
徳島新聞	129,560
高知新聞	127,771
大分合同新聞	127,437
福島民報	124,078
東奥日報	121,946
岐阜新聞	121,830
フクニチ	120,000
夕刊新聞	118,463
山形新聞	112,996
秋田魁新報	109,115
福井新聞	108,973
長崎新聞	106,565
福島民友	106,040

日本新聞協会編『日本新聞年鑑 1966年』（電通発行，1966年）

し地方紙46%という比率であってかなり拮抗していたのが実情であった。要するに全国紙は首都圏、近畿圏といった大都市部において圧倒的であるものの、それ以外の「地方」は概して地元発行の地方紙が優位に立っていたと整理することができる。それゆえ、これまでの研究は全国紙に偏り地方紙が持つ影響力を軽視していたといわざるを得ないのであるが、地方紙が全国紙よりはるかに記事収集・検索・検討が困難であったこともまた否めない。この点、今回の「資料紹介」はこれまでの地方紙研究の遅れをカバーする狙いも込められている。

しかし、日本新聞協会加盟の新聞に限定したとしても、1960年代において地方紙は約70紙存在し、その全てを調査することは極めて困難である。そこで発行部数を参考に、「当時有力な地方紙」を対象を限定することにした。表1、表2は1960年、1965年の発行部数順に地方紙を整理したものである。全国紙のある東京・大阪においても、地方においても、敗戦直後こそ数多くの新興紙が創刊されたものの、1960年代に入ると戦時体制期の「一県一紙」により発足した「既存地方紙」がその地域で圧倒的地位を占めるようになり、安定した部数を誇るようになった（「一県一紙」の復活に近い状況といえよう）。ここでは概ね20万部以上の部数（全国発行部数合計の1%弱）である地方紙は有力紙とみなしてよいと判断した。20万部以下の新聞でどこまで線引きをするかは主観的判断の伴う作業であるが、今回は1965年時点で20万部を超えているものの1960年時点は約13万部（全国発行部数合計の0.5%程度）であった『静岡新聞』を基準に（=1960年時点、『静岡新聞』より部数の多い新聞を優先するというで）、採録する地方紙を以下のように決定した。

（北海道・東北）『北海道新聞』『北海タイムス』『東奥日報（青森）』『河北新報（宮城）』
 （関東・東京）『東京新聞』
 （中部）『新潟日報』『北日本新聞（富山）』『北國新聞（石川）』『信濃毎日新聞』『静岡新聞』『中部日本新聞（愛知、1965年『中日新聞』）』
 （近畿）『京都新聞』『神戸新聞』
 （中国・四国）『山陽新聞（岡山）』『中国新聞（広島）』『愛媛新聞』『高知新聞』
 （九州）『西日本新聞（福岡）』『熊本日日新聞』『大分合同新聞』『南日本新聞（鹿児島）』

なお言及した部数の基準でいくと『福島民報』『大阪新聞』も採録対象になるが、両紙は社説が存在しないので対象から外している（厳密には『福島民報』はごく稀に社説を掲載。両紙とも『朝日新聞』の「天声人語」に相当するコラム欄は存在）。一方で『静岡新聞』は、外部識者寄稿である「東京だより」が事実の社説としての機能を果たしていたが、多数執筆している高山岩男らが事実上論説委員代表のような役割であったことも考慮し、今回対象に含めることにした。

次に採録した社説・論説（題名）については、朝鮮半島問題に関する社説はできるだけ広く採用することにした。その際、国会における論議、首相記者会見、日米関係、日本外交全般に関する内容が主であっても日韓・朝鮮問題も取り上げられ、簡潔な内容でも論評が書かれていれば基本的に採録することにした。ただし、基準がやや曖昧であることは否定できず、また新聞によっては日韓問題を直接社説で取り上げたのは少ないものの部分的言及の社説になると相当数あるというケースもでてくる（「質より量」というところであろうか）。

表3は今回紹介した各紙年代ごとの社説（論説）掲載数を示したものである。参考までに前述した基準で選んだ全国紙（『朝日』『毎日』『読売』）の社説数も載せているが、地元の問題も社説で取り上げる地方紙の方が少なくなるのはやむを得ない。とはいえ、『中部日本』『北海道』『西日本』のいわゆる「ブロック紙」をはじめ、部数30万程度の有力地方紙は全国紙には決して劣らない掲載数ではあるし、部数10万部台でも『熊本日日』『高知』あたりは日韓・朝鮮問題を積極的に取り上げていたということができよう。

以下、年ごとの傾向をごく簡単に概観したい。

表3 各紙年代別社説掲載数

	北海道	中部日本	西日本	河北	東京	京都	神戸	中国
1960年	9	11	10	6	10	7	4	8
1961年	12	18	15	7	14	10	7	12
1962年	10	14	5	6	12	12	8	11
1963年	10	16	13	7	14	14	13	10
1964年	12	15	10	10	19	10	12	15
1965年	27	33	29	25	35	25	22	24

	新潟	北国	信濃毎日	静岡	山陽	北海タイ	北日本	愛媛
1960年	10	2	7	4	10	7	2	11
1961年	7	9	7	10	13	7	4	13
1962年	4	11	11	10	13	3	3	6
1963年	4	7	11	8	9	0	2	12
1964年	8	4	9	13	16	2	2	11
1965年	27	18	19	19	12	12	6	21

	熊本日日	南日本	東奥日報	高知	大分合同
1960年	3	2	2	12	2
1961年	12	9	4	11	7
1962年	13	9	1	9	5
1963年	11	9	2	8	3
1964年	17	5	2	13	4
1965年	27	28	8	15	17

	朝日	毎日	読売
1960年	11	8	6
1961年	20	19	12
1962年	14	15	8
1963年	17	19	12
1964年	19	21	14
1965年	29	19	26

1. 1960年後半

1960年（後半）掲載社説について、注意しなければならないのはその多くが日朝関係、具体的には1959年開始の北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）帰還事業に関する内容であったことである（『北海道』4本、『中部日本』7本、『西日本』5本、『河北』2本、『東京』6本、『京都』2本、『神戸』2本、『中国』1本、『新潟』8本、『北国』1本、『信濃毎日』4本、『静岡』1本、『山陽』4本、『北海タイムス』3本、『愛媛』5本、『熊本日日』1本、『東奥』1本、『高知』6本）。ただし日朝関係ないし北朝鮮に関する社説はこれ以降激減し、1961年7月のソ連、中国との相互援助条約締結にかなりの数の新聞が反応したことを除き社説のテーマとして取り上げられることはほぼなくなった²⁾。

一方、日韓関係については政権発足直後の動向紹介に止まる新聞（『東京』、『京都』、『新潟』、『北国』、『北日本』、『熊本日日』、『南日本』、『東奥』、『大分合同』）と10月に開始された予備会談も取り上げた新聞（『北海道』、『中部日本』、『西日本』、『河北』、『神戸』、『中国』、『信濃毎日』、『静岡』、『山陽』、

『北海タイムス』、『愛媛』、『高知』）に分かれており、この違いが掲載された社説数に反映している。

2. 1961年

周知のように、1961年は朴正熙による軍事クーデター（5月16日）が最大の出来事（対象とした全紙が社説で紹介）といえるが、対日関係改善に積極的な姿勢を取る朴政権と日本政府との間で第6次会談が開始（10月20日）されたことも重要である。

「5.16」以前に日韓関係・会談の動きを社説で取り上げたのは『北海道』『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『京都』『中国』『新潟』『山陽』『愛媛』『熊本日日』『高知』と多数を占める。ただし『京都』『中国』『新潟』『山陽』は間接的な紹介、『河北』『熊本日日』は1本のみであって全体に低い関心に止まっている。「5.16」から韓国の政情安定（8月頃まで韓国国内に関する社説が多い）を経て日本との第6次会談が開始され、11月朴正熙（国家再建最高会議議長）が来日し池田首相と会談すると、今回対象のほぼ全紙が複数回（『東奥』は1本のみ）、日韓問題を社説で取りあげるようになった（特に『中部日本』『東京』『山陽』『愛媛』は5本以上）。論調は「拙速は避ける」べきだが会談再開を概ね歓迎するというものであった（『北海道』は慎重論）。

3. 1962年

前年から始まった会談の動向に対応する形で社説も掲載されているが、大平正芳が外相に就任（7月）し、最終的に金鐘泌中央情報部部长との間で請求権問題が妥結（11月）した1962年後半（8～12月）に社説は集中している。一方で8月までの動きを複数回フォローした新聞は半数以下（『北海道』『中部日本』『京都』『中国』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『南日本』『高知』『大分合同』）に止まる。また『新潟』『北海タイムス』『北日本』『東奥』の様に年間を通じて5本未満の掲載となった新聞も出てくるようになった。

請求権など年末までの進展については『北海道』『中部日本』『西日本』『東京』『京都』『神戸』『中国』『北国』『信濃毎日』『山陽』『北海タイムス』『南日本』『高知』『大分合同』が取り上げているが、取り上げなかった新聞も一定数存在する。請求権の妥結については『北海道』『信濃毎日』『山陽』『高知』は不満・疑問の態度を取り他紙も慎重論が多い（もっとも『北海道』の論調は他紙とやや趣を異にしている）。また『西日本』『神戸』は漁業問題（李ライン）に重点を置いている。

4. 1963年

1963年は一転して韓国の政情不安が目立った年であり、そのため各紙社説もその多くを韓国国内政治について取り上げていた（10月の朴正熙大統領当選と翌月の政権与党の議会議選勝利をもって政情安定することを期待する社説が大半）。『新潟』『東奥』は日韓関係を社説で取り上げず、『西日本』『河北』『神戸』『北日本』『大分合同』は韓国政情との関連で論評するに止まっている。『北海タイムス』になると韓国国内政治も含め、全く社説（論説）で取り上げなかった。一方『北海道』『中部日本』『東京』はこの年複数回日韓関係について論じているが、韓国の政情不安を理由に交渉には慎重な態度を日本に求める点で概ね一致していた。

あと個別論点として「李ライン」など漁業問題がクローズアップされた。『京都』『信濃毎日』がこの問題を4回社説で取り上げた他、『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『中国』『山陽』

『愛媛』『南日本』『高知』も取り上げ、一様にこの問題で韓国に妥協することに反対する論陣を張っていた。

5. 1964年

朴正熙の大統領就任後、日韓関係の早期妥結への動きが本格化した。漁業問題や領土をめぐる対立は残存したままであり、韓国漁民・学生の激しい反対運動により第6次日韓会談は中止に追い込まれる（4月6日）。ゆえに一連の動きに対し大半の新聞は関連社説を数多く掲載している（『北海道』『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『京都』『神戸』『中国』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『愛媛』『熊本日日』『高知』が5本以上掲載）。総じて韓国内の状況を憂えているが、交渉に際して安易な妥協に反対するのと同様、反対運動には批判的であった（『北海道』は独自の論調）。

その後、（戒厳令をも敷くことによる）韓国政情の安定並びに日韓会談積極派と目された佐藤栄作内閣が成立することで、11月第7次日韓会談が開始されると『北海タイムス』『東奥』『北日本』を除く各紙が社説で取り上げ、安易な妥協には反対するものの関係改善を期待する点で概ね一致している（ここでも『北海道』は韓国との国交正常化に批判的な論調であった）。

6. 1965年

前年11月、第7次会談が開始されると日韓交渉は一気に進展した。1965年2月に日韓基本条約の仮調印、4月に請求権・漁業・在日韓国人の法的地位に関する協定の仮調印、そして6月22日、これらの条約・協定が正式に調印された。その後（8月に韓国で条約批准後）、10月に日本の国会で条約の批准作業が開始され、12月11日参議院本会議を通過。18日の批准交換式により条約は正式に発効するに至る。

このため、1965年は日韓問題に関する社説の掲載数が最も多い年になった。特に『北海道』『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『京都』『神戸』『中国』『新潟』『信濃毎日』『愛媛』『熊本日日』『南日本』は20本以上社説でこの問題を取り上げており、これまで掲載社説が少数に止まっていた『北海タイムス』『北日本』『東奥』もこの年は6～12本社説で取り上げている。個別論点（漁業問題をはじめ、在日韓国人の法的地位、管轄権、領土）も条約・協定調印や国会審議中に、また日韓双方の反対運動を取り上げた新聞も目立つ。論調としては、妥結内容には不満を示すものの、概ね国交樹立を今後の第一歩と位置付け評価する新聞が大半であった。ただし、妥結内容を「屈辱的」と解して反発した『河北』や韓国との国交樹立そのものに反対である『北海道』のような新聞も存在している。なお、かつての日本の植民地支配について言及する新聞はごく稀であったが、『北海道』『神戸』が日本の加害について社説で取り上げていたことは注目に値しよう。

以上、年ごとの社説の頻度・傾向についてごく簡単に見てきたが、国交樹立に至るまで日韓関係は漁業、領土、請求権、管轄権など様々な論点（対立点）を抱えており、前述のように不満を残したまま国交は正常化された。それゆえ日韓問題は（1960年代に入り社説欄が消滅・縮小したり、専ら地元問題を社説で取り上げる傾向が強くなる一部地方紙を除くと）比較的高い関心を持ち、社説に取り上げ見解を披瀝したいテーマであったといえる。もっとも今回検討した限りでは地方・地域の相違による取り上げる社説テーマの目立った相違はあまり認められなかった。が、一方で各紙それなりに独自の主張を展開していた点は認められる。これらの主張を丁寧な整理することでこ

の当時の日本の韓国・朝鮮認識の一端を知ることでもできよう（もちろん、これらの作業は今後の課題であるが）。

なお可能な限り丁寧な調査を心掛けたが、未発掘の社説やデータ面の初歩的不備もまだ多々あるように思われる。発見次第、速やかに訂正を行うことにしたい。

注

- 1) 渡辺良智「新聞の社説にみる朝鮮」（『青山学院女子短期大学紀要』44号，1990年）は、1945～1990年の『朝日』『毎日』『読売』『日経』社説の概要を説明。阿部康人「日本の新聞の日韓関係報道とメディアの責任―日韓基本条約発効までの『朝日』『読売』社説を素材にして―」（『同志社メディア・コミュニケーション研究』第3号，2006年）と三谷文栄「日韓国交正常化交渉をめぐるメディア言説の変遷：政治的正当化とフレーム分析の観点から」（『法學政治學論究』第90号，2011年）は日韓基本条約発効までの『朝日』『読売』社説を検討しているが、いずれにせよ対象を全国紙に限定している。
- 2) 北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）に関する地方紙社説について、1960年の帰還事業，1961年のソ連との条約締結を除くと、1962年の帰還事業（『中部日本』『東京』『新潟日報』『信濃毎日』，1964～1965年の北朝鮮国籍者の自由往来（『北海道』『東京』『京都』『神戸』『愛媛』，1965年日韓条約との関連での言及（『西日本』『南日本』），それに『新潟日報』が北朝鮮との直接貿易に期待し（1961年4月），『中国』が南北朝鮮問題を特に取り上げた（1962年）程度に止まっている。

朝鮮半島問題・日韓関係に関する主要地方紙社説（1960～1965年）

地方紙：50万部以上（1965年時点）

北海道新聞

- 1960年7月26日 北朝鮮帰還協定は更新が当然
 1960年7月31日 韓国選挙における民主党の圧勝
 1960年8月20日 韓国の安定政権の出現を望む
 1960年8月25日 張勉新内閣と日韓の善隣外交
 1960年9月3日 北朝鮮帰還の日朝交渉に望む
 1960年9月8日 日韓の懸案打開へ
 1960年9月21日 新潟会談の決裂
 1960年10月26日 日韓会談開く
 1960年10月29日 帰還協定延長は当然
 1961年1月24日 日韓予備会談にのぞむ
 1961年5月7日 日韓調整を急ぐな
 1961年5月17日 韓国の新事態をどうみるか
 1961年5月20日 韓国の軍事政権成立と米国
 1961年7月5日 韓国軍事政権のジレンマ
 1961年7月8日 ソ連・北朝鮮条約とわが国の立場
 1961年7月13日 極東情勢を安定させる条件
 1961年7月30日 ラスク声明とわが国の対韓政策
 1961年9月10日 政府の対韓政策への疑問
 1961年10月17日 日韓会談の“政治的解決”は危険
 1961年11月6日 日韓問題で国論を分裂させるな
 1961年11月13日 疑問の多い政府の日韓正常化方針
 1962年1月11日 曲がりかどに立つ対韓政策
 1962年2月25日 日韓政治折衝とはなにか
 1962年3月18日 日韓政治会談を再考せよ
 1962年3月25日 韓国に生じた新しい二つの事実
 1962年7月31日 日韓交渉をなぜいそぐか
 1962年8月22日 常識に反する日韓早期妥結方針
 1962年10月11日 社会党の新外交方針案
 1962年10月22日 日韓交渉を進めてよいのか
 1962年12月13日 「請求権」論争の問題点
 1962年12月28日 批判に耐えぬ“請求権”の内容
 1963年1月29日 対韓交渉方針の立て直しを望む
 1963年2月19日 新段階にはいった韓国政情
 1963年2月28日 日韓交渉の誤算を認めよ
 1963年4月2日 韓国の情勢をどうみるか
 1963年4月10日 変転する韓国情勢と日本
 1963年5月17日 軍政二周年を迎えた韓国
 1963年7月29日 民政移管を発表した韓国
 1963年10月17日 韓国大統領選の結果が示す意味
 1963年11月30日 韓国の総選挙をこう見る
 1963年12月17日 韓国の民政発足と日韓交渉
 1964年3月5日 日韓漁業解決の基本条件
 1964年3月20日 日韓交渉への根本的な疑問
 1964年3月28日 新局面を迎えた日韓交渉
 1964年4月5日 日韓交渉の根本的再検討を望む
 1964年5月12日 韓国の“政変”が意味するもの

- 1964年 6月5日 韓国民族主義の底流を見失うな
 1964年 7月30日 見通しの明るくない韓国政情
 1964年 8月13日 北朝鮮への自由往来を認めよ
 1964年 8月15日 疑問の多い韓国への“経済援助”
 1964年 9月25日 対韓援助はどれだけ効果があるか
 1964年12月2日 公正・妥当な日韓交渉は可能か
 1964年12月26日 北朝鮮への自由往来を認めよ
 1965年 1月25日 日韓会談への二つの疑問
 1965年 2月11日 急進展が予想される日韓交渉
 1965年 2月17日 外相訪韓の前途を憂える
 1965年 2月21日 将来に禍根をのこす日韓仮調印
 1965年 3月10日 日韓漁業に平等の原則を貫け
 1965年 3月23日 争点をぼかした日韓漁業交渉
 1965年 3月30日 疑義の多い日韓漁業協定／日韓法的地位交渉の問題点
 1965年 4月4日 日韓仮調印への根本的な疑問
 1965年 5月20日 米韓共同声明をどうみるか
 1965年 6月23日 日韓交渉妥結が意味するもの
 1965年 8月12日 臨時国会で明らかにされた論点
 1965年 8月16日 韓国国会の日韓「批准」強行
 1965年 8月27日 韓国学生デモをどう見るか
 1965年 9月25日 日韓条約批准と政党の態度
 1965年10月4日 日韓条約の持つ疑点をただせ
 1965年10月6日 “善隣外交” にひそむ疑点を問う
 1965年10月14日 疑点の解明にほど遠い政府演説
 1965年10月17日 不見識きわまる政府の入国扱い
 1965年10月19日 特別委で実質的な審議を尽くせ
 1965年10月26日 日本人の朝鮮人観に思う
 1965年10月31日 核心にふれた審議をしているか
 1965年11月6日 日韓審議の打ち切りに反対する
 1965年11月7日 遺憾だった特別委の強行採決
 1965年11月13日 日韓強行可決の責任を問う
 1965年12月12日 「日韓」への疑問は消えない
 1965年12月16日 日韓貿易会談と経済協力
 1965年12月18日 早くも対立する日韓漁業

中部日本新聞（1965年中日新聞に改称）

- 1960年 7月28日 帰還協定の延長を
 1960年 7月31日 韓国の新政権に望む
 1960年 8月20日 張勉首相を歓迎する
 1960年 8月26日 日韓会談と新潟会談
 1960年 9月3日 北朝鮮側が譲る番だ
 1960年 9月8日 抑留漁船員の釈放を喜ぶ
 1960年 9月16日 北朝鮮赤十字に望む
 1960年 9月25日 決裂した新潟会談
 1960年10月19日 大詰めにきた北朝鮮帰還問題
 1960年10月24日 日韓予備会談に望む
 1960年10月28日 北朝鮮帰還協定問題の解決
 1961年 1月24日 日韓会談はあせるな
 1961年 3月10日 二つの日韓請求権文書
 1961年 4月11日 対韓政策を再点検せよ

- 1961年5月2日 日韓問題の総合的検討を
 1961年5月17日 韓国の軍部クーデター
 1961年5月21日 韓国軍部政権と今後の課題
 1961年7月5日 韓国政変の意味するもの
 1961年7月8日 緊張を深めるソ朝軍事同盟
 1961年7月13日 中朝同盟条約と自主外交の必要
 1961年7月30日 日韓関係打開の前提条件
 1961年8月3日 日韓会談再開の手順
 1961年8月13日 懸念の多い韓国の民政移行声明
 1961年9月4日 日韓交渉再開を前に
 1961年10月7日 こじれた日韓会談の再開
 1961年10月21日 日韓会談の早期妥結のため
 1961年11月6日 急転回する日韓会談
 1961年11月11日 朴韓国議長の来日に当たって
 1961年11月13日 池田・朴会談の成果
 1962年1月6日 舞台はアジアへ回る？
 1962年1月22日 日韓会談に筋を通せ
 1962年2月25日 日韓会談への警告
 1962年3月11日 筋の通った日韓外相会談を
 1962年3月19日 実りなき日韓政治会談と今後
 1962年3月23日 韓国民主化への不安
 1962年7月21日 帰還協定の現実的解決を
 1962年8月20日 日韓会談妥結の機運を生かせ
 1962年8月31日 請求権の解釈と支払いの限度
 1962年10月7日 大平外相の帰国と日韓会談
 1962年10月24日 池田・金会談と今後の日韓交渉
 1962年12月13日 “請求権”で納得のゆく説明を
 1962年12月20日 大詰めに来た日韓会談に望む
 1962年12月27日 請求権問題は妥結したが
 1963年1月12日 再開した日韓会談に切望する
 1963年1月27日 日韓会談はしばらく静観を
 1963年2月19日 朴議長声明の受け取り方
 1963年2月22日 日韓問題はしばらく静観せよ
 1963年3月1日 長期的な日韓友好のために
 1963年3月17日 韓国に起こった新情勢
 1963年3月21日 重大化した韓国情勢
 1963年6月3日 真の日韓友好のために
 1963年7月5日 日韓漁業交渉のヤマ場に
 1963年7月29日 日韓交渉の基本的な構え
 1963年8月1日 日韓共同声明の受け取り方
 1963年9月17日 韓国大統領選挙の展望と今後
 1963年10月17日 韓国大統領選挙の結果に思う
 1963年10月29日 足踏み必至となった日韓会談
 1963年11月28日 韓国の国会選挙と今後
 1963年12月17日 韓国の新発足と日本の役割
 1964年1月11日 重要な日韓正式会談の申し入れ
 1964年3月4日 日韓“政治会談”のあり方
 1964年3月20日 日韓会談の中間報告と国民
 1964年3月26日 韓国学生デモの背景と教訓
 1964年4月5日 日韓交渉の中断と深刻な反省

- 1964年 5月11日 韓国政変の意味するもの
- 1964年 6月 5日 韓国の非常事態を悲しむ
- 1965年 6月26日 日韓経済協力を積極化せよ
- 1964年 7月30日 韓国の戒厳令解除
- 1964年 8月19日 日韓正常化とアジアの安定
- 1964年 9月20日 韓国の対日強硬方針
- 1964年10月 7日 韓国政府に苦言を呈す
- 1964年11月18日 何のための外相訪韓か
- 1964年11月27日 日韓会談の再開に望む
- 1964年12月23日 休会にはいった日韓会談
- 1965年 1月 8日 高杉代表に期待する
- 1965年 1月21日 遺憾な“高杉発言”
- 1965年 2月11日 大詰めの日韓会談
- 1965年 2月17日 外相の訪韓にあたり
- 1965年 2月21日 日韓基本条約の仮調印
- 1965年 3月 3日 日韓農相会談の課題
- 1965年 3月14日 進展した日韓会談
- 1965年 3月18日 在日韓国人の永住権
- 1965年 3月25日 日韓漁業交渉の妥結
- 1965年 3月28日 十四年交渉の総決算
- 1965年 4月 4日 あすの日韓関係
- 1965年 4月18日 遺憾な韓国の学生デモ
- 1965年 4月25日 日韓経済協力の問題点
- 1965年 5月15日 不当な韓国の修正要求
- 1965年 5月20日 新段階の米韓関係
- 1965年 6月19日 日韓正式調印を前に
- 1965年 6月23日 日韓正常化の道開く
- 1965年 6月24日 互恵の日韓経済協力を
- 1965年 8月16日 韓国の“批准”成立
- 1965年 8月27日 韓国学生デモの性格
- 1965年10月 5日 日韓国会は慎重審議を
- 1965年10月 6日 首相記者会見に寄せて
- 1965年10月14日 不透明な政府演説
- 1965年10月17日 応酬だけの代表質問
- 1965年10月24日 国連二十周年と日本
- 1965年10月29日 “日韓” 審議と国籍問題
- 1965年11月 5日 与野党の激突をさげよ
- 1965年11月 7日 遺憾な“日韓”の強行採決
- 1965年11月13日 議会民主主義のために
- 1965年11月14日 反省なき参院の運営
- 1965年11月30日 日韓審議に仕上げを
- 1965年12月12日 “日韓” 成立とその前途
- 1965年12月19日 日韓新時代をどう開く

西日本新聞

- 1960年 8月 2日 日韓関係に新時代を開け
- 1960年 8月20日 韓国の張新政権に期待する
- 1960年 8月26日 すべり出し好調の日韓外交
- 1960年 9月 5日 日朝会談の早期妥結を望む
- 1960年 9月 8日 日韓親善の初志を忘れるな

- 1960年9月14日 日朝会談決裂を回避せよ
 1960年9月26日 きわめて残念な日朝会談決裂
 1960年10月25日 今度こそ日韓会談の妥結を
 1960年10月29日 日朝交渉の妥結とこんご
 1960年11月26日 北朝鮮帰還交渉は妥結したが
 1961年1月25日 日韓の国交正常化に望む
 1961年3月10日 日韓請求権の相殺がスジ道
 1961年4月27日 日韓会談促進を実行で示せ
 1961年5月11日 日韓の意見一致を具体化せよ
 1961年5月17日 韓国の政情混乱を憂慮する
 1961年5月23日 軍事政権の長期化を避けよ
 1961年7月5日 韓国軍事政権の長期化
 1961年7月8日 理解できぬソ連、北朝鮮条約
 1961年7月13日 極東での冷戦激化を恐れる
 1961年7月30日 ラスク対韓声明と日本の立場
 1961年8月13日 韓国民主化の公約を注視する
 1961年10月6日 日韓問題を腹芸で処理するな
 1961年10月20日 日韓の早期妥結に賛成だが
 1961年11月10日 日韓会談では拙速を慎め
 1961年11月14日 池田・朴会談の成果を生かせ
 1962年3月7日 日韓外相会談の目標を誤るな
 1962年8月19日 日韓交渉にほしい妥協精神
 1962年10月21日 李ライン紛争も同時解決せよ
 1962年12月20日 日韓交渉のこんごを注視する
 1962年12月29日 韓国も早く漁業協定案を示せ
 1963年1月27日 日韓交渉は正式外交ルートで
 1963年2月13日 金発言に具体化を期待する
 1963年2月20日 韓国情勢の楽観視を戒む
 1963年2月22日 韓国の政情安定化を望む
 1963年3月2日 外交論議にほしい節度、冷静さ
 1963年3月19日 韓国の軍政延長をこう見る
 1963年4月10日 韓国民主化へ「訓政」を生かせ
 1963年5月17日 韓国民主化のための条件
 1963年9月29日 日本漁船捕獲を即時中止せよ
 1963年10月4日 韓国民主化の目標達成を
 1963年10月17日 朴新大統領に課せられた使命
 1963年11月28日 朴政権の安定示す韓国総選挙
 1963年12月17日 韓国の民政復活を望む
 1964年2月27日 転機を迎えた日韓漁業交渉
 1964年3月10日 日韓会談の妥結には慎重なれ
 1964年3月20日 日韓中間報告の線を崩すな
 1964年3月28日 韓国学生デモの拡大を憂える
 1964年5月12日 丁内閣の成立と韓国のこんご
 1964年6月5日 韓国政情の成り行きを憂う
 1964年6月7日 金議長辞任と韓国政局のこんご
 1964年7月30日 韓国政治の長期安定化を望む
 1964年9月20日 韓国は漁船捕獲を即時中止せよ
 1964年11月25日 高まった日韓会談の再開機運
 1965年1月22日 日韓会談を進展させるには
 1965年2月3日 後退した韓国の共同規制案

- 1965年 2月17日 椎名外相の訪韓に望む
- 1965年 2月21日 日韓国交正常化への一歩前進
- 1965年 3月 3日 日韓農相会談に慎重な態度を
- 1965年 3月25日 事実上妥結した日韓漁業交渉
- 1965年 3月28日 日韓諸協定の円満な運用を
- 1965年 4月 4日 仮調印後の日韓関係に望む
- 1965年 4月15日 日韓経済協力こんごの課題
- 1965年 5月14日 納得できぬ韓国の修正要求
- 1965年 6月23日 日韓条約の正式調印とこんご
- 1965年 6月24日 日韓経済協力の展開に望む
- 1965年 8月17日 韓国の日韓条約の批准強行
- 1965年 8月27日 学生運動をめぐる韓国政情
- 1965年 9月23日 本番を迎える日韓条約の批准
- 1965年10月 5日 日韓批准国会の審議に望む
- 1965年10月14日 政府演説にみる日韓条約問題
- 1965年10月17日 国会の代表質問を聞いて
- 1965年10月19日 日韓漁業協定と沿岸漁業対策
- 1965年11月 2日 政府は対北鮮態度を明確に
- 1965年11月 5日 日韓経済協力の基本姿勢
- 1965年11月 7日 何ゆえの単独採決強行か
- 1965年11月 8日 漁業協定にからまる問題点
- 1965年12月 1日 日韓公聴会と沿岸漁民の不安
- 1965年12月 5日 繰り返された参院の紛糾
- 1965年12月12日 日韓条約承認と今後の課題
- 1965年12月15日 日韓漁業協定の発効をまえに
- 1965年12月16日 日韓経済協力の展開に望む
- 1965年12月18日 日韓新時代とアジア外交

25万部以上

河北新報

- 1960年 8月 5日 二つの選挙の教訓
- 1960年 8月 8日 日韓正常化の絶好の機会
- 1960年 8月26日 鄭外相談を歓迎する
- 1960年 9月14日 一人でも多く、一日でも早く
- 1960年10月23日 日韓予備会談に望む
- 1960年11月12日 北送の促進と在日韓国人への目
- 1961年 5月14日 日韓関係の正常化のために
- 1961年 5月17日 韓国改善の確算があるか
- 1961年 7月 5日 新たな難関迎える？ 韓国の政変
- 1961年 8月 4日 抜き難い日韓会談のカベ
- 1961年10月 6日 日韓会談に望む
- 1961年11月 6日 日韓交渉はまず経済面から道を開け
- 1961年11月13日 日韓正常化はアジア提携の一歩
- 1962年 2月27日 新段階迎えた日韓会談
- 1962年 3月12日 見通しの暗い日韓東京会談
- 1962年 8月 1日 日韓会談妥結への大前提
- 1962年 8月31日 社会党が発展する道
- 1962年 9月11日 ヤマ場を迎えた日韓予備折衝
- 1962年11月14日 日韓会談にじっくり構えよ

- 1963年2月20日 韓国の政情と日韓会談
 1963年3月13日 深刻な韓国の政治局面
 1963年3月18日 韓国の新事態と日米韓関係
 1963年3月27日 重大な韓国政治家の責任
 1963年5月20日 好転を期待される日韓漁業交渉
 1963年10月17日 大統領当選に続く朴議長の難関
 1963年11月28日 今後の多難さを示す韓国総選挙
 1964年2月18日 日韓関係を正常化する道
 1964年3月4日 日韓漁業“政治会談”に望む
 1964年3月9日 妥結ムードに乗った日韓政治会談
 1964年3月21日 「日韓中間報告」に思う
 1964年3月28日 日韓会談に慎重な態度を
 1964年5月12日 韓国政変と日韓会談
 1964年6月5日 韓国学生デモの意味するもの
 1964年10月1日 バンディ演説のもつ意義
 1964年10月6日 米韓共同声明を読んで
 1964年12月2日 日韓会談への姿勢を正せ
 1965年1月18日 日韓交渉再開に新しい背景
 1965年2月2日 椎名外相の訪韓と日韓会談
 1965年2月17日 椎名外相訪韓の第一要素
 1965年2月20日 ゆらぐ“自主平和外交”
 1965年2月23日 第二の“安保騒動”にするな
 1965年3月13日 日韓貿易会談に慎重な態度を
 1965年3月21日 国民に『佐藤路線』の信を問え
 1965年3月24日 公正と安定の妥結望む
 1965年3月27日 国会での日韓論議に期待する
 1965年3月30日 日韓両国の親善増進のために
 1965年4月4日 日韓交渉仮調印とこんごの問題
 1965年6月14日 自主外交と「地域友愛」の精神
 1965年6月23日 日韓正式調印と政府の責任
 1965年6月28日 韓国との間の新しい通商路
 1965年7月13日 韓国国会の成り行きを見守ろう
 1965年9月14日 政府、与党の日韓PR運動に望む
 1965年9月28日 日韓批准国会と党首会談
 1965年10月4日 国会に寄せる国民の冷静な批判眼
 1965年10月6日 “話術上達”だけの記者会見
 1965年10月9日 国民的利益を考え審議に当たれ
 1965年10月31日 日韓特別委の論議を聞いて
 1965年11月6日 日韓国会は審議の実を尽くせ
 1965年11月7日 強行採決と院外圧力の悪循環
 1965年12月12日 日韓新時代を迎えて
 1965年12月19日 アジアに平和の光りを

東京新聞

- 1960年7月28日 帰還促進条件に“期間延長”
 1960年8月1日 韓国民主党的圧倒的勝利
 1960年8月7日 グラグラ帰還方式を改めよ
 1960年8月16日 日韓親善使節のタイミング
 1960年8月28日 日韓関係、再出発のために
 1960年9月8日 韓国の抑留漁船員釈放を喜ぶ

- 1960年 9月19日 北朝鮮側の反省を望む
1960年10月21日 北朝鮮側の冷静な態度を望む
1960年10月29日 帰還促進に誠意を示せ
1960年11月26日 帰還促進の妥結
1961年 1月25日 日韓予備会談の再開に望む
1961年 2月10日 “新段階” の日韓会談に望む
1961年 5月 5日 日韓の経済協力
1961年 5月17日 韓国のクーデターと経済危機
1961年 5月25日 注視すべき韓国新政権の動向
1961年 7月 5日 韓国政変と経済建設
1961年 7月 8日 ソ連・北朝鮮同盟のねらい
1961年 8月13日 韓国の政情安定を期待する
1961年 9月 5日 日韓会談の早急な打開を望む
1961年10月 7日 韓国側の誤解を解くのが先決
1961年10月17日 日韓全面会談の再開に望む
1961年11月 7日 日韓交渉の新局面に望む
1961年11月12日 納得できる首相の対韓方針
1961年11月13日 有意義だった池田・朴会談
1962年 3月12日 日韓政治会談に注文する
1962年 3月23日 尹韓国大統領の辞任を惜しむ
1962年 5月30日 実情に即した帰還協定の修正を
1962年 6月19日 気がかりな韓国政界の動向
1962年 7月20日 政策に首相の政治生命かけよ
1962年 8月10日 日韓予備折衝に期待するもの
1962年 8月22日 みのりある日韓交渉を望む
1962年 9月29日 首尾一貫せぬ社党の外交方針
1962年10月23日 日韓会談の成果と今後の課題
1962年12月11日 変わり栄えない首相の演説
1962年12月20日 日韓交渉の仕上げを慎重に
1962年12月21日 韓国の改憲投票と軍事政権
1963年 1月29日 韓国政情の早急な安定を期待
1963年 2月19日 朴声明と韓国の政情安定
1963年 2月25日 韓国の政局収拾に期待する
1963年 3月 2日 日韓交渉に新局面を迎えて
1963年 3月16日 望ましい韓国の立ち直り
1963年 4月 2日 韓国政情に新局面を待望する
1963年 5月16日 政局転換に直面する韓国
1963年 6月27日 “李ライン撤廃” の筋を通せ
1963年 8月 4日 日韓交渉には長期的視野を
1963年10月 7日 韓国大統領選挙と与野党の対決
1963年10月17日 韓国大統領選挙に示された民意
1963年11月 5日 焦点を欠いた外交論争
1963年11月28日 与党が圧勝した韓国総選挙
1963年12月20日 韓国の民政発足に望むこと
1964年 1月13日 最終段階を迎える日韓会談
1964年 2月26日 日韓漁業交渉の筋道を誤るな
1964年 3月 9日 再開される日韓本会談に望む
1964年 3月12日 日本の威信と責任について
1964年 3月16日 ILOを日韓とすりかえるな
1964年 3月20日 日韓会談の政府報告を聞いて

- 1964年3月31日 韓国学生デモと交渉の進路
1964年4月9日 中断状態の日韓国交正常化
1964年5月12日 韓国の政変と日韓会談の前途
1964年6月5日 韓国政情の冷静な收拾を望む
1964年6月11日 韓国の絶糧農民を救おう
1964年8月6日 韓国の言論統制を憂える
1964年8月11日 アジアの平和と日韓関係
1964年9月9日 対韓外交に太い筋を通せ
1964年9月28日 対韓援助に一つの提案
1964年10月8日 遺憾な韓国の対日方針
1964年11月28日 日韓会談と韓国安定の道
1964年12月28日 年を越す日韓会談に要望
1964年12月30日 北朝鮮自由往来について
1965年1月26日 佐藤色を出した施政演説
1965年2月16日 椎名外相の訪韓に寄せて
1965年2月21日 日韓交渉の前進を喜ぶ
1965年3月23日 日韓漁業交渉のポイント
1965年3月25日 日韓漁業交渉妥結を喜ぶ
1965年3月29日 急進展の日韓会談に思う
1965年4月4日 “日韓妥結”をどう生かすか
1965年4月17日 韓国の学生と野党に望む
1965年6月17日 参院選挙戦に見る政策論争
1965年6月18日 “日韓妥結”を目前にして
1965年6月23日 日韓正常化への調印成る
1965年7月9日 対韓経済援助と国際協力
1965年7月22日 韓国批准国会の打ち切り
1965年8月13日 食い違う日韓条約の解釈
1965年8月17日 韓国の“条約”承認に思う
1965年8月27日 韓国のデモ騒動を憂う
1965年10月5日 “日韓国会”の審議に望む
1965年10月6日 “日韓”に意欲を示す首相
1965年10月13日 日韓国会は審議をつくせ
1965年10月17日 説得力を欠いた代表質問
1965年10月25日 韓国語を学ぶことから
1965年10月28日 疑問を残す“韓国籍”問題
1965年10月29日 本格化した日韓条約審議
1965年10月31日 韓国管轄権とアジア外交
1965年11月5日 日米の率直な討議を望む
1965年11月6日 日韓審議とわが外交姿勢
1965年11月7日 遺憾な“日韓”の強行採決
1965年11月10日 日韓審議はこれでよいか
1965年11月12日 日韓条約の衆院通過に
1965年11月13日 日韓反対ストへの疑問
1965年11月17日 参院日韓委の発足を急げ
1965年11月18日 駐韓大使館のつくり方
1965年12月4日 社党の進路と河上氏の死
1965年12月12日 日韓条約の承認に寄せて
1965年12月18日 日韓の新時代を迎えて

京都新聞

- 1960年 8月1日 韓国を長い目で
 1960年 8月7日 帰還問題の円満解決を
 1960年 8月13日 尹韓国大統領に望む
 1960年 8月20日 韓国を率いる張勉氏へ
 1960年 8月27日 訪韓使節派遣に期待する
 1960年 9月2日 小坂外相に希望する
 1960年10月29日 北朝鮮帰還にのぞむ
 1961年 5月12日 骨のない小坂外交
 1961年 5月17日 韓国クーデターに注目
 1961年 5月19日 米国の対韓方針確立が第一
 1961年 7月8日 疑惑の上に立つ軍事同盟
 1961年 7月30日 冷静を要する対韓関係
 1961年10月22日 日韓会談に期待する
 1961年11月1日 日米経済委員会に望む
 1961年11月5日 日米関係の“新しい時代”
 1961年11月12日 日韓の首脳会談に望む
 1961年11月13日 池田・朴会談の成果
 1962年 1月6日 対韓ムード外交は不可
 1962年 3月11日 日韓の政治交渉に望む
 1962年 3月15日 政治的交渉の限界
 1962年 3月24日 対韓政策の根本は何か
 1962年 5月2日 日韓会談は慎重に
 1962年 8月18日 見通しの暗い日韓交渉
 1962年 8月21日 再開される日韓予備交渉
 1962年10月12日 日韓交渉に性急は禁物
 1962年10月17日 矛盾した社会党の外交方針
 1962年12月3日 日韓交渉の早期妥結を期待
 1962年12月15日 樂觀過ぎる大野観測
 1962年12月27日 日韓交渉と政局の混迷
 1963年 1月3日 三十八年の外交に望む
 1963年 1月19日 まずまずの首相記者会見
 1963年 1月23日 漁業交渉に強い態度を
 1963年 2月20日 韓国の政局安定を望む
 1963年 2月23日 外交の姿勢を正せ
 1963年 2月28日 日韓関係の一時機
 1963年 3月23日 反省の必要な米の対韓政策
 1963年 5月18日 韓国革命二周年に思う
 1963年 9月21日 韓国の不法な日本漁船攻撃
 1963年 9月28日 韓国の不当な日本漁船捕獲
 1963年10月5日 様相の一変した韓国の大統領選
 1963年10月17日 朴新大統領と今後
 1963年11月28日 朴政権の勝利
 1963年12月2日 大詰めの韓国漁業折衝に望む
 1964年 1月9日 新段階を迎えた日韓会談
 1964年 2月18日 日韓会談と南北統一問題
 1964年 3月11日 日韓会談を政争の具にするな
 1964年 3月16日 煮詰まった日韓漁業会談
 1964年 3月20日 日韓会談を双務的に
 1964年 3月29日 日韓正常化の本筋

- 1964年 5月12日 韓国の政変と日本の態度
- 1964年 6月 5日 同情にたえぬ韓国政情
- 1964年10月24日 日韓会談再開の機運
- 1964年12月 3日 日韓会談の再開にあたって
- 1965年 2月11日 転機を迎えた日韓交渉
- 1965年 2月18日 おとなげない外相不信任案
- 1965年 3月18日 日韓漁業会談にダメ押しを
- 1965年 3月25日 日韓漁業交渉の妥結
- 1965年 4月 4日 日韓諸懸案の仮調印と今後
- 1965年 5月15日 日韓関係の政治と心理
- 1965年 6月23日 日韓正式調印と善隣への道
- 1965年 7月22日 臨時国会と危機の意識
- 1965年 8月 8日 外交方針の確立を
- 1965年 8月12日 臨時国会をかえりみて
- 1965年 8月29日 日韓条約と韓国学生デモ
- 1965年 9月26日 日韓批准国会に望む
- 1965年10月 5日 臨時国会の与野党に望む
- 1965年10月 6日 首相の所信と国民の立場
- 1965年10月 8日 国会の空白と院外闘争
- 1965年10月14日 日韓批准に審議をつくせ
- 1965年10月17日 委曲をつくした国会審議を
- 1965年11月 4日 日韓審議に目をひらけ
- 1965年11月 7日 しこり残した強行採決
- 1965年11月14日 国会混迷と違法ストを戒む
- 1965年11月19日 参院は審議の促進をはかれ
- 1965年11月27日 日韓条約批准後の対策
- 1965年12月 5日 佐藤自主外交の前途
- 1965年12月12日 日韓条約承認と国会正常化
- 1965年12月18日 日韓友好の門出に送る

神戸新聞

- 1960年 7月28日 外交方針に広い視野を
- 1960年 8月19日 期待される韓国新政権
- 1960年 8月29日 韓国と北朝鮮との間に
- 1960年10月29日 北送促進と日韓交渉の前途
- 1961年 5月17日 ヤブから棒の韓国革命
- 1961年 6月10日 韓国の軍部政権と日本
- 1961年 7月 5日 韓国の政変をこう見る
- 1961年 8月13日 おそきに失する韓国民政
- 1961年10月22日 筋を通した日韓交渉を
- 1961年11月 7日 トップレベルの日韓交渉
- 1961年11月17日 日韓交渉のいましめ
- 1962年 3月23日 尹韓国大統領の辞任
- 1962年 5月17日 日韓交渉の新展開
- 1962年 7月21日 新内閣の外交政策
- 1962年 7月30日 これからの日韓関係
- 1962年 8月27日 勇み足の日韓予備交渉
- 1962年11月15日 峠を越した日韓交渉
- 1962年12月21日 日韓交渉に寄せる疑問
- 1962年12月28日 日韓交渉“李ライン”へ

- 1963年 1月27日 原則を欠く日本の賠償
 1963年 1月30日 韓国の派閥争いと日本
 1963年 2月19日 揺れ動く韓国の政界
 1963年 2月22日 韓国を読み誤る日本外交
 1963年 3月13日 発覚した韓国クーデター
 1963年 3月18日 韓国の政情を憂える
 1963年 4月9日 三転する韓国の政情
 1963年 7月22日 腹をすかせた韓国国民
 1963年 8月21日 先走る在韓財産への見解
 1963年 9月14日 韓国の選挙戦への疑問
 1963年10月17日 朴議長が勝った韓国選挙
 1963年11月28日 与党が勝った韓国選挙
 1963年12月19日 新生韓国と日本の態度
 1964年 1月19日 日韓漁業交渉への疑問
 1964年 3月11日 開かれた日韓政治会談
 1964年 3月28日 韓国学生デモの意味
 1964年 5月12日 いよいよ募る政局不安
 1964年 5月16日 波騒ぐ李ラインの内側
 1964年 6月5日 ついに朴政権の打倒へ
 1964年 6月8日 日韓交渉もタナ上げか
 1964年 7月30日 戒厳令を解いた韓国
 1964年 9月11日 新聞に屈した朴大統領
 1964年 9月28日 対韓緊急援助の意義
 1964年12月3日 共通のことばで交渉へ
 1964年12月19日 北朝鮮への帰省に希望
 1965年 1月23日 うかつだった高杉発言
 1965年 2月17日 権名外相を迎える韓国
 1965年 2月21日 日韓条約のあいまいさ
 1965年 3月26日 李ラインの名は残る
 1965年 4月5日 譲歩し過ぎた日韓交渉
 1965年 4月16日 去年の二の舞を憂う
 1965年 5月10日 国民感情を無視するな
 1965年 5月15日 日韓交渉、窮地に立つ
 1965年 6月13日 素通りした問題が大切
 1965年 6月23日 譲歩を恨みにとどめるな
 1965年 7月21日 李承晩氏の死をいたむ
 1965年 8月27日 薄い日本の加害者意識
 1965年10月5日 とことん審議を尽くせ
 1965年10月12日 日韓条約と野党の態度
 1965年10月14日 長期の見通しに欠ける
 1965年10月17日 突っ込み不足の代表質問
 1965年10月29日 戻り道のない韓国国籍
 1965年11月7日 佐藤首相の猛省を促す
 1965年11月10日 日韓反対のストに反対
 1965年11月13日 まだおそくない日韓審議
 1965年12月11日 友好的感情を育てよう
 1965年12月19日 日韓友好は国民の心に

中国新聞

- 1960年 7月27日 アジア外交の転機

- 1960年7月30日 韓国と選挙
 1960年8月19日 日韓関係好転を期待
 1960年9月6日 外相訪韓の政治目的
 1960年9月17日 妥協すべき新潟会談
 1960年11月4日 朝鮮統一問題の前進
 1960年11月21日 因循軽拳を戒む
 1960年12月17日 日韓会談に期待
 1961年4月28日 韓国との前進的交流
 1961年5月17日 韓国のクーデター
 1961年5月22日 的確な情報
 1961年5月26日 微妙な経緯の米韓関係
 1961年5月30日 軍政下の良くない事例
 1961年7月8日 一石二鳥の朝ソ同盟
 1961年7月11日 安定しない韓国政情
 1961年8月13日 韓国政情の転機
 1961年10月20日 日韓問題解決の時期
 1961年11月4日 政治折衝の日韓問題
 1961年11月14日 日韓会談と現実外交
 1961年12月2日 日米合作外交の推進
 1962年1月16日 日韓第六次会談開く
 1962年2月19日 南北朝鮮の場合
 1962年3月12日 日韓会談に望む
 1962年3月24日 日韓交渉の周辺
 1962年8月23日 請求権にこだわる韓国
 1962年8月30日 李ラインと竹島問題
 1962年9月16日 微妙な日韓の接近
 1962年9月26日 妥協を急ぐべき韓国側
 1962年11月14日 日韓交渉の進め方
 1962年12月10日 日韓相互理解の契機
 1962年12月11日 注目される大野氏訪韓
 1963年2月13日 「金発言」と李ライン
 1963年2月15日 日韓交渉はあせらずに
 1963年2月20日 韓国民主化の前途
 1963年2月22日 韓国政情と事実上静観
 1963年2月28日 他国政情の内政反映
 1963年3月14日 苦悩する韓国政界／日韓問題懇談会の発足
 1963年3月27日 米声明と韓国
 1963年6月30日 韓国への食糧輸出を
 1963年12月18日 韓国の民政復帰
 1964年1月19日 日韓交渉の基本線
 1964年2月9日 譲歩と歩み寄りの心
 1964年2月11日 国防ラインでも同じ
 1964年3月9日 急展開の日韓交渉
 1964年3月17日 漁業交渉と日韓問題
 1964年3月22日 日韓課題の決算
 1964年3月31日 急がずともよい日韓交渉
 1964年4月27日 日韓前途の暗雲
 1964年6月3日 韓国の政情と日本
 1964年6月4日 局地戦争と戦勝国
 1964年6月5日 学生デモに動揺する韓国

- 1964年 8月19日 日韓正常化の方向
- 1964年 9月 9日 韓国の言論闘争
- 1964年 9月26日 韓国, 借款受け入れ
- 1964年10月 7日 韓国に警告する
- 1965年 2月17日 日韓解決への瀬踏み
- 1965年 2月21日 日韓正常化の転機
- 1965年 3月14日 農相会談の結実
- 1965年 3月17日 「日韓」解決への重要段階
- 1965年 3月23日 日韓交渉の最終段階
- 1965年 4月 3日 日ソ, 日韓交渉の妥結
- 1965年 4月 4日 アジア安定の礎石
- 1965年 4月20日 韓国デモ隊に望む
- 1965年 6月23日 日韓両国の新しい出発
- 1965年 8月10日 国民運動と世論作り
- 1965年 8月17日 表現のきつさと誇張性
- 1965年 8月27日 韓国学生デモの重大性
- 1965年 9月27日 専管十二カイリの根拠
- 1965年10月 5日 “日韓国会”の基本的課題
- 1965年10月 7日 民主主義を守るために
- 1965年10月 8日 韓国の管轄権問題
- 1965年10月13日 素朴にみるべき“日韓”
- 1965年10月14日 日韓条約と国連軍
- 1965年11月11日 アジアの緊張と国連
- 1965年11月13日 国会の前途を憂う
- 1965年11月14日 参院で審議をつくせ
- 1965年11月15日 順法こそ信頼への道
- 1965年11月16日 経済協力は模範的に
- 1965年12月12日 日韓新時代への第一歩

20万部以上

新潟日報

- 1960年 7月31日 帰還問題と韓国の態度
- 1960年 8月12日 日朝新潟会談再開に当たって
- 1960年 8月16日 金首相の統一呼びかけ
- 1960年 9月 1日 新潟会談を本筋にのせよ
- 1960年 9月 5日 しっかりした外交姿勢を
- 1960年 9月 7日 外相の訪韓を有意義に
- 1960年 9月17日 最後の努力を惜しむな
- 1960年 9月25日 遺憾な新潟会談の決裂
- 1960年10月28日 日朝会談の妥結を喜ぶ
- 1960年11月26日 互譲に立った日朝会談
- 1961年 1月24日 韓国の国民運動
- 1961年 4月 9日 北朝鮮との直接貿易を歓迎
- 1961年 4月18日 米国の調停説に
- 1961年 5月17日 韓国のクーデターと波紋
- 1961年 7月 8日 新たな軍事同盟の出現
- 1961年11月12日 日韓交渉の進めかた
- 1961年11月14日 日韓首脳会談の成果
- 1962年 3月12日 引揚者問題の解決を急げ

- 1962年3月16日 日韓会談と国会論議
 1962年8月21日 再開される日韓予備交渉
 1962年11月19日 北朝鮮帰還に寄せる
 1963年2月23日 韓国の政情には冷静に対処
 1963年3月20日 急転回する韓国の政局
 1963年4月12日 再転した韓国の政局
 1963年8月1日 三十八度線の不安
 1964年3月9日 日韓交渉の妥結に慎重期せ
 1964年4月1日 静観要す日韓交渉
 1964年5月11日 韓国新内閣と日韓会談
 1964年5月12日 前途多難な韓国新政権
 1964年9月19日 対韓交渉は気長く
 1964年9月22日 李ライン問題の国連提訴
 1964年10月5日 日韓国交正常化の原則
 1964年12月3日 日韓交渉には慎重を期せ
 1965年2月21日 日韓交渉はこれからが重要
 1965年3月13日 日韓交渉の妥結を急ぐな
 1965年3月25日 合意をみた日韓漁業交渉
 1965年3月30日 日韓交渉大詰めに迎えて
 1965年4月4日 日韓交渉三懸案の仮調印
 1965年4月16日 韓国学生の日韓交渉反対デモ
 1965年4月20日 韓国民の理性ある態度を
 1965年5月20日 朴韓国大統領の“反日感情”
 1965年6月7日 日韓交渉の締めくくり
 1965年6月22日 日韓交渉調印と竹島の領有権
 1965年6月23日 日韓条約の調印と将来
 1965年8月11日 日韓条約条文解釈のくい違い
 1965年9月2日 自民党の日韓条約推進
 1965年9月13日 “日韓批准国会”の混乱を憂う
 1965年9月27日 漁業専管水域法案の取り扱い
 1965年10月5日 “日韓臨時国会”に良識を
 1965年10月6日 首相の記者会見によせる
 1965年10月9日 日韓両国の確認要す竹島問題
 1965年10月14日 首、外相演説の“日韓問題”
 1965年10月15日 “日韓”のこのくい違い
 1965年11月1日 まだ足りぬ国民の感情
 1965年11月7日 納得の行かぬ強行採決
 1965年11月9日 審議を尽くすことが先決
 1965年11月10日 本会議の激突をさける道
 1965年12月6日 参議院の事態を憂える
 1965年12月12日 日韓条約は承認されたが
 1965年12月19日 きょうから開く日韓農相会談

北国新聞

- 1960年8月27日 新局面迎える日韓関係
 1960年10月23日 日曜日の談話室から：在日朝鮮人の帰国問題について
 1961年4月14日 北朝鮮帰還再開
 1961年5月17日 韓国の軍部クーデター
 1961年5月19日 韓国クーデターと米国
 1961年7月5日 軍人政府の性格と欠陥

- 1961年7月8日 ソ・北朝鮮軍事同盟と日本
 1961年7月13日 二軍事同盟に恐れるもの
 1961年8月30日 日韓会談の互譲妥結を
 1961年11月7日 転機に立つ日韓会談
 1961年11月12日 日曜日の談話室から：韓国の朴議長の来日に寄せて
 1962年1月11日 張前議長の判決に思う
 1962年1月17日 首相の記者会見と国会
 1962年3月13日 納得できる日韓会談たれ
 1962年8月22日 日韓交渉は互譲がカギ
 1962年9月4日 臨時国会で感じたこと
 1962年9月16日 日曜談話室：感情の対立（北国新聞主筆 上山南洋）
 1962年10月13日 日韓交渉は国民とともに
 1962年10月20日 日韓交渉は拙速より理解
 1962年12月8日 国民の納得できる論議を
 1962年12月18日 格調の低い国会論議
 1962年12月28日 日韓会談を注視する
 1963年2月1日 韓国の政情を注目せよ
 1963年2月22日 無理な日韓交渉を慎め
 1963年3月26日 民主韓国を冷静に待つ
 1963年9月3日 多難な韓国大統領選挙
 1963年10月18日 朴新大統領の今後の課題
 1963年11月1日 選挙戦の外交論議に望む
 1963年12月19日 韓国の新政権と日本
 1964年3月5日 国会後半に“明快”を望む
 1964年3月15日 日曜談話室：日韓交渉（本社論説委員長 荒谷余十勝）
 1964年10月12日 日本漁船の捕獲をやめよ
 1964年12月4日 再開の日韓交渉に望む
 1965年1月28日 韓国の南ベトナム派兵
 1965年2月16日 日韓交渉大詰めの問題点
 1965年2月21日 日曜談話室：第一ラウンド（本社論説委員長 荒谷余十勝）
 1965年3月16日 日韓交渉は筋を貫け
 1965年3月25日 日韓交渉に重ねて望む
 1965年6月23日 日韓調印後の問題
 1965年8月11日 日韓の食い違いを調整せよ
 1965年8月16日 韓国の日韓批准承認に思う
 1965年9月27日 「一日内閣」を顧みて
 1965年9月29日 説得力弱い首相発言
 1965年10月5日 日韓批准国会に望む
 1965年10月14日 説得力欠く首相演説
 1965年10月17日 日曜談話室：この1年（本社論説委員長 荒谷余十勝）
 1965年10月30日 前向きに審議せよ
 1965年11月7日 日曜談話室：相互不信（本社論説委員長 荒谷余十勝）
 1965年12月11日 国会の正常化を急げ
 1965年12月15日 今後の日韓経済協力
 1965年12月19日 日曜談話室：「日韓」と「日ソ」（本社論説委員長 荒谷余十勝）

信濃毎日新聞

- 1960年7月31日 民主党圧勝と日韓関係
 1960年8月20日 日韓正常化と北朝鮮帰還
 1960年8月28日 両民族の相互理解が根本

- 1960年9月8日 意義のあった外相訪韓
 1960年9月26日 帰還打ち切りは許されない
 1960年10月27日 帰還協定延長に最善を尽くせ
 1960年10月29日 帰還延長と日韓会談
 1961年5月17日 激動する韓国を見守る
 1961年7月13日 極東の緊張を誘うもの
 1961年7月29日 韓国軍事政権とラスク声明
 1961年8月13日 余りに遅い韓国の民政移行
 1961年10月15日 日韓会談再開を前に
 1961年11月7日 日韓懸案の合理的解決が前提
 1961年11月13日 今後の日韓会談いかん
 1962年1月12日 日韓、政治会談より交渉で
 1962年3月12日 日韓政治会談にあたって
 1962年3月19日 進展しなかった日韓外相会談
 1962年3月24日 韓国大統領の政治的辞任
 1962年7月22日 無理のない北朝鮮帰還案
 1962年8月19日 日韓折衝再開に当たって
 1962年9月10日 納得できる日韓妥結を期せ
 1962年10月23日 日韓交渉の進展に望む
 1962年12月3日 納得をはばむ請求権の考え方
 1962年12月20日 余りに高くつく請求権処理
 1962年12月27日 請求権解決はこれでよいか
 1963年2月13日 旧態依然の李ライン問題
 1963年2月19日 複雑な韓国政情を見守る
 1963年2月28日 韓国政情と日韓交渉
 1963年3月18日 ホゴになりかけた民政移管
 1963年4月9日 韓国政情の転機になるか
 1963年6月18日 なんのための漁船捕獲か
 1963年7月8日 李ライン撤廃の提案はよいが
 1963年8月2日 十二カイリへの譲歩を待つ外ない
 1963年10月17日 朴大統領の辛勝
 1963年11月28日 韓国与党の勝利
 1963年12月17日 韓国の第三共和国発足
 1964年3月4日 漁業問題と日韓高級会談
 1964年3月10日 日韓、日中問題と現実外交
 1964年3月20日 中間報告と日韓交渉の困難
 1964年3月29日 残念な対日不信
 1964年5月11日 注視を要する韓国の政情
 1964年6月5日 深刻な韓国の政情不安
 1964年7月29日 韓国に対する経済協力
 1964年9月20日 日本漁船の捕獲をやめよ
 1964年11月27日 日韓会談の再開にあたって
 1965年2月17日 外相訪韓と基本条約の問題
 1965年2月21日 疑問を残す基本条約仮調印
 1965年3月15日 在日韓国人と特別永住権
 1965年3月22日 日韓漁業交渉をまげるな
 1965年3月25日 漁業交渉妥結と李ライン撤廃
 1965年3月29日 無理な譲歩で妥結を急ぐな
 1965年4月4日 日韓会談の妥結と課題
 1965年4月20日 韓国の日韓調印反対デモ

- 1965年 5月14日 遺憾さわまる韓国の態度
 1965年 6月17日 竹島の解決方法を明確にせよ
 1965年 6月23日 日韓調印と今後の努力
 1965年 8月16日 日本の批准前に疑惑を解け
 1965年 8月27日 日韓関係のためにも憂える
 1965年 9月30日 日韓批准国会を控えて
 1965年10月 5日 「日韓国会」に望む
 1965年10月11日 国民の理解を第一にせよ
 1965年10月14日 首相の所信表明をきいて
 1965年10月16日 かみ合わない論戦
 1965年10月19日 日韓条約論戦を聞いて
 1965年11月 2日 「善隣友好」の明確な展望を
 1965年11月 6日 もっと審議を尽くせ
 1965年11月 7日 遺憾な強行採決
 1965年11月11日 大衆運動の行き過ぎを戒む
 1965年11月13日 議会政治への不信を憂える
 1965年11月14日 参院を混乱の悪循環にするな
 1965年11月22日 参院特別委の日韓審議に望む
 1965年12月 6日 強行採決の悪循環
 1965年12月12日 日韓条約承認と政府の責任
 1965年12月18日 真の日韓友好を築くために

静岡新聞（「東京だより」）

* タイトルのないものは内容を（ ）で示した

- 1960年 7月16日 （日韓会談：堀毛一麿）
 1960年 7月27日 （在日朝鮮人帰還と日韓関係：近藤泰一郎）
 1960年10月21日 （抑留漁船員釈放：近藤泰一郎）
 1960年12月25日 （日韓関係：近藤泰一郎）
 1961年 5月23日 （韓国クーデター：唐島基智三）
 1961年 5月24日 （韓国クーデター：高山岩男）
 1961年 6月 2日 （韓国クーデターと革命政権：近藤泰一郎）
 1961年 6月 3日 （クーデター後の韓国：堀毛一麿）
 1961年 7月14日 （韓国軍部政権：高山岩男）
 1961年 7月22日 （北朝鮮・ソ連条約：近藤泰一郎）
 1961年 9月11日 日韓国交調整、極東の混乱防ぐ（近藤泰一郎）
 1961年11月18日 自由体制と日韓国交（大井篤）
 1961年11月23日 日韓国交正常化の必要（近藤泰一郎）
 1961年12月 7日 一つの朝鮮、二つのドイツ（高山岩男）
 1962年 2月 6日 煮つまって来た日韓会談（堀毛一麿）
 1962年 3月18日 まず日韓経済協力の実現を（堀毛一麿）
 1962年 8月20日 日韓会談は大乗の見地から（近藤泰一郎）
 1962年 8月30日 日韓交渉の難点（唐島基智三）
 1962年 9月 9日 ドゴール大統領の西独訪問（高山岩男）
 1962年11月 7日 日本からみた韓国の新憲法（大井篤）
 1962年11月10日 「二つの朝鮮」を認めるな（大井篤）
 1962年12月 7日 日韓国交正常化への反対理由（大井篤）
 1963年 1月10日 日韓正常化の早期実現を望む（近藤泰一郎）
 1963年 2月22日 朴議長の出馬声明（大井篤）
 1963年 3月25日 韓国の軍政延長について（近藤泰一郎）
 1963年 3月29日 韓国の軍政延長はどうか（大井篤）

- 1963年3月30日 韓国内紛（高山岩男）
 1963年10月25日 日韓国交正常化の促進（大井篤）
 1963年10月28日 日韓国交正常化の問題（近藤泰一郎）
 1963年12月6日 韓国の安定と日米の態度（大井篤）
 1964年2月24日 日韓会談の早期妥結を望む（近藤泰一郎）
 1964年3月17日 共産党と社会党（大井篤）
 1964年3月30日 日韓会談反対闘争（高山岩男）
 1964年3月31日 日韓会談は互いの善意で（堀毛一磨）
 1964年4月5日 学生運動の時代錯誤的独善（高山岩男）
 1964年4月14日 日韓交渉の中断は賢明（近藤泰一郎）
 1964年6月4日 韓国の学生デモ（高山岩男）
 1964年6月10日 韓国の政情と学生運動（大井篤）
 1964年6月14日 韓国はどこへ行く（高山岩男）
 1964年7月12日 池田総裁へ要望する（近藤泰一郎）
 1964年10月11日 漁業秩序維持の必要（近藤泰一郎）
 1964年10月20日 漁船保護に自衛隊を出すべきか（井本晴久）
 1964年12月24日 権威ある日韓会談を（井本晴久）
 1965年4月7日 日韓会談所感（高山岩男）
 1965年4月25日 日韓学生使節団派遣の必要（近藤泰一郎）
 1965年7月3日 何のための日韓正常化反対か（高山岩男）
 1965年7月7日 日韓国交正常化のために（近藤泰一郎）
 1965年7月8日 日韓交渉の妥結を祝福する（堀毛一磨）
 1965年7月17日 日韓の協力を望む（堀毛一磨）
 1965年8月29日 韓国学生デモに思う（大井篤）
 1965年9月21日 社会党の日韓批准反対闘争（大井篤）
 1965年10月1日 日韓反対統一戦線と中共の戦略（大井篤）
 1965年10月6日 まず審議にはいれ（唐島基智三）
 1965年10月16日 日韓条約論争の冷戦的性格（大井篤）
 1965年10月20日 日韓論戦の跡を見る（唐島基智三）
 1965年11月6日 日韓国会に迫られる選択（大井篤）
 1965年11月12日 日韓審議の限界と社会党（大井篤）
 1965年11月13日 佐藤首相、長蛇を逸す（唐島基智三）
 1965年11月16日 民主議会成立の条件（井本晴久）
 1965年12月2日 日韓友好の次に来るもの（堀毛一磨）
 1965年12月15日 日韓今後の課題（唐島基智三）
 1965年12月25日 日韓相互信頼のために（大井篤）

山陽新聞

- 1960年7月30日 婦還協定延長はやむをえぬ
 1960年7月31日 韓国総選挙の結果と日本
 1960年8月8日 北朝鮮婦還促進に同意を
 1960年8月21日 韓国の新政権に期待する
 1960年8月26日 日韓会談の再開を喜ぶ
 1960年9月5日 しっかりした外交姿勢を
 1960年9月25日 破局に直面した北朝鮮婦還問題
 1960年10月18日 婦還問題と日韓会談
 1960年10月29日 婦還協定延長と日韓会談
 1960年11月26日 婦還促進の合意を喜ぶ
 1961年2月16日 中国・日韓問題と社会党方針
 1961年5月17日 韓国クーデターの突発

- 1961年 5月24日 対韓政策に慎重であれ
1961年 7月 6日 韓国の政変と日本の態度
1961年 7月 8日 ソ連・北朝鮮軍事同盟と日本
1961年 7月11日 慎重を要する対韓方針
1961年 7月13日 中朝条約と共産側の動向
1961年 8月 4日 日韓事務折衝に寄せて
1961年 8月14日 韓国の民政移管に期待する
1961年10月 8日 日韓会談はこの際見送れ
1961年10月14日 日韓会談再開は慎重に
1961年11月 9日 日韓問題の政治解決は避けよ
1961年11月13日 日韓両首脳会談の意義
1962年 1月18日 再開した日韓会談に望む
1962年 3月 7日 日韓政治会談によせて
1962年 3月19日 かけ離れている日韓双方の主張
1962年 3月24日 尹大統領の辞職と影響
1962年 7月20日 物足りぬ首相の所信表明
1962年 7月31日 日韓交渉再開を前にして
1962年 8月22日 再開された日韓交渉に望む
1962年 9月14日 対韓譲歩案には問題がある
1962年10月23日 日韓会談の促進に望む
1962年11月15日 日韓交渉の現段階と進め方
1962年12月14日 納得のむずかしい統一見解
1962年12月20日 請求権の大幅譲歩への疑問
1962年12月30日 日韓交渉・今後の問題点
1963年 1月11日 日韓交渉の再開に望む
1963年 1月25日 歯車の合わぬ国家の論争
1963年 1月29日 韓国政情の動揺と日韓交渉
1963年 2月15日 韓国政情の安定化を望む
1963年 2月20日 朴議長声明と韓国の政局
1963年 3月14日 慎重にみまもるべき韓国の情勢
1963年 3月18日 韓国の軍政延長への動き
1963年 3月31日 賠償交渉の終了と今後の問題
1963年 6月18日 韓国側の反省を
1963年 6月26日 対日非難当たらぬ
1963年 7月23日 韓国側の歩み寄り
1963年 7月29日 韓国の民政移管
1963年 9月 6日 韓国の民政移管に望む
1963年10月 8日 終盤戦にはいった韓国選挙
1963年10月18日 朴新大統領に望む
1963年11月15日 外交論争を深めよ
1963年11月29日 与党が勝った韓国総選挙
1963年12月17日 漁業問題で説得を
1963年12月19日 韓国新政権の発足に期待
1964年 1月 4日 自主外交の確立を
1964年 1月11日 日韓交渉への態度
1964年 2月26日 政治的解決を急ぐな
1964年 3月 4日 筋の通った交渉を
1964年 3月18日 日韓交渉にはあくまで筋を
1964年 4月 3日 日韓交渉の一転機
1964年 4月24日 竹島は固有の領土

- 1964年 5月12日 韓国内閣更迭と政情安定化
- 1964年 5月15日 遺憾な「ちくご」事件
- 1964年 6月 5日 激化した韓国の政情不安
- 1964年 6月 7日 金議長辞任と韓国の政局
- 1964年 6月26日 通常国会を終わる
- 1964年 7月30日 戒厳令解除と韓国政情の今後
- 1964年 9月 5日 韓国の言論弾圧は遺憾
- 1964年 9月25日 対韓援助に韓国側の誠意を
- 1964年12月 4日 合理的交渉態度を
- 1965年 1月18日 国民の理解が根本
- 1965年 2月17日 慎重な言動を望む
- 1965年 3月25日 妥結した漁業交渉
- 1965年 3月29日 最後まで筋を通せ
- 1965年 6月22日 大事な心の交流
- 1965年 7月31日 具体性に乏しい
- 1965年10月 5日 日韓新時代のため
- 1965年10月14日 決意示す首相演説
- 1965年10月21日 特別委審議急げ
- 1965年11月 7日 遺憾な強行採決
- 1965年11月13日 不当な強行採決
- 1965年12月12日 国交正常化の糸口

15万部以上

北海タイムス

- 1960年 7月24日 北朝鮮帰還を延長せよ
- 1960年 8月 1日 日韓正常化への積極外交支持
- 1960年 8月25日 新段階を迎える日韓関係
- 1960年 8月31日 対韓外交の基本線は何か
- 1960年 9月 4日 日朝新潟会談に望む
- 1960年10月20日 北朝鮮帰還問題の考え方
- 1960年10月26日 李ラインの解決が根本
- 1961年 5月17日 危なかしいクーデター
- 1961年 5月20日 韓国クーデターの今後
- 1961年 8月14日 民政移管と日韓交渉
- 1961年10月16日 日韓会談再開に望む
- 1961年11月11日 日本案をまず固めよ
- 1961年11月12日 自信への不安と疑問
- 1961年11月14日 日韓交渉は新段階に
(論説)
- 1962年 8月26日 互譲の精神を望む (松原博)
- 1962年12月22日 韓国経済と北海道 (森猛)
- 1962年12月27日 日韓問題のこんご (宮田久)
- 1964年 3月17日 誠意と友好と良識 (久手川勝治)
- 1964年 3月31日 慎重に再検討せよ (松原博)
- 1965年 4月 4日 日韓交渉の急転解決 (木野工)
- 1965年 6月23日 相互の理解と信頼 (唐島智三)
- 1965年 8月13日 短いが成果あった国会 (木野工)
- 1965年 9月29日 日韓批准は現実的に (森猛)
- 1965年10月 5日 静かなる審議を望む (久手川勝治)

- 1965年10月6日 力強い説得を望む（木野工）
- 1965年10月11日 国会は空白を恥とせよ（木野工）
- 1965年11月7日 何のためのゴリ押しか（木野工）
- 1965年11月13日 国民不在の国会運営（木野工）
- 1965年12月3日 日韓審議の仕上げを（森猛）
- 1965年12月12日 日韓，参院まかり通る（木野工）
- 1965年12月31日 この1年（木野工）

北日本新聞

- 1960年7月15日 池田総裁への要望
- 1960年8月27日 日韓関係正常化のために
- 1961年5月17日 韓国クーデターの影響
- 1961年5月27日 対韓関係は慎重に
- 1961年10月17日 日韓会談の早期妥結を
- 1961年11月7日 日韓会談を控えて
- 1962年8月19日 日韓会談に期待する
- 1962年12月4日 日韓交渉に慎重な態度を
- 1962年12月29日 日韓交渉に要望する
- 1963年3月28日 韓国政情と日本の態度
- 1963年11月3日 選挙の外交論争に望む
- 1964年7月12日 戦争犠牲処理の問題点
- 1964年11月22日 総花的だった首相の演説
- 1965年2月21日 条約の仮調印と今後
- 1965年6月23日 日韓交渉調印に思う
- 1965年10月5日 臨時国会を見つめよう
- 1965年10月14日 要点がぼけた首相演説
- 1965年11月13日 議会民主主義の灯は消ゆ
- 1965年12月12日 日韓条約の成立に望む

愛媛新聞

- 1960年7月24日 急がねばならない対韓政策の確定
- 1960年8月14日 韓国の新政情と日韓国交正常化の期待
- 1960年8月20日 張勉新首相と日韓関係の前途
- 1960年8月26日 日韓に生まれつつある和解の空気
- 1960年9月1日 北鮮帰還で電報にこだわるな
- 1960年9月4日 電報問題解決と日朝会談への希望
- 1960年9月9日 小坂外相の訪韓と日韓関係の前進
- 1960年9月19日 新潟会談再開の余地はないか
- 1960年10月12日 日韓予備会談への期待と要望
- 1960年10月20日 帰還は無修正に近い線で打開を
- 1960年10月29日 帰還問題で同じ紛争を起こすな
- 1961年1月25日 日韓会談再開に当たっての要望
- 1961年4月16日 進まぬ日韓会談と自民党内の動き
- 1961年5月17日 韓国のクーデターを注視する
- 1961年5月22日 出現した韓国の新軍部内閣
- 1961年6月15日 首相の訪米に希望したいこと
- 1961年7月2日 自信だけでは不安な池田新政策
- 1961年7月8日 ソ連・北朝鮮軍事同盟と日本の立場
- 1961年8月4日 日韓の接触回復と当面の問題点
- 1961年8月31日 金韓国使節の来日と日韓会談

- 1961年10月16日 日韓会談の再開決定
 1961年11月9日 新局面を迎える日韓交渉
 1961年11月12日 池田首相の記者会見
 1961年12月24日 民族日報社長らの処刑
 1962年2月8日 日韓交渉と国会の論議
 1962年3月24日 尹韓国大統領の辞任表明
 1962年8月8日 日韓交渉再開への疑問
 1962年8月18日 新段階の日韓交渉に望む
 1962年9月8日 スジを通じた日韓交渉を
 1962年11月5日 日韓交渉の現段階に望む
 1963年1月8日 新段階の日韓交渉に望む
 1963年1月30日 韓国の政情不安と日韓会談
 1963年2月22日 日韓交渉は見送れ
 1963年3月6日 まず韓国の実情をつかめ
 1963年3月14日 揺れ続く韓国の政情
 1963年3月21日 混迷をつづける韓国政情
 1963年6月18日 相つぐ韓国の漁船捕獲
 1963年7月22日 日韓漁業交渉の問題点
 1963年9月11日 韓国大統領選挙に望むこと
 1963年10月9日 韓国大統領選を注視する
 1963年10月18日 朴政権の将来を見守ろう
 1963年11月29日 韓国の政情は安定するか
 1963年12月11日 ヤマ場を迎えた日韓会談に
 1963年12月18日 韓国第三共和国の発足
 1964年2月6日 大詰めの日韓会談に望む
 1964年3月10日 日韓会談と国民感情
 1964年3月28日 日韓会談—一つの見方
 1964年5月11日 とてものめぬ韓国の主張
 1964年5月15日 巡視船の運行をめぐる
 1964年6月6日 激動の韓国情勢への対処
 1964年8月1日 戒厳令解除と韓国の良識
 1964年9月23日 韓国政府の自重を要望
 1964年10月9日 バンティ発言に注目
 1964年11月20日 日韓関係打開への条件
 1964年12月11日 日韓問題は一括解決方式で
 1965年1月18日 日韓全面会談再開に望む
 1965年2月16日 外相訪韓への期待と要望
 1965年3月2日 韓国人の「永住権」問題
 1965年3月15日 漁業交渉と李ライン問題
 1965年3月26日 漁業交渉の妥結と問題点
 1965年3月29日 法的地位交渉の問題点
 1965年6月7日 韓国の対日姿勢確立方策
 1965年6月23日 新時代迎える日韓関係
 1965年8月16日 「日韓批准」強行をめぐる
 1965年8月29日 韓国の学生デモと背景
 1965年9月26日 日韓批准宣伝活動の激化
 1965年10月5日 “日韓国会”の審議に望む
 1965年10月17日 入国認可基準に筋をおせ
 1965年10月23日 日韓特別委の審議に望む
 1965年11月2日 日韓審議のこんごに望む

- 1965年11月7日 問題残す日韓強行採決
- 1965年11月11日 遺憾さわまる不正常国会
- 1965年11月13日 日韓案件の抜き打ち可決
- 1965年12月12日 「日韓批准」の席には重大
- 1965年12月13日 けわしい日韓友好の道
- 1965年12月19日 日韓新時代のアジア外交

熊本日日新聞

- 1960年7月29日 「北鮮帰還」は続けよ
- 1960年8月30日 「祝賀親善」の特使
- 1960年9月7日 素人外交は危ない
- 1961年3月10日 請求権問題と日韓会談
- 1961年5月16日 外交論の大前提
- 1961年5月17日 韓国のクーデター
- 1961年5月19日 日韓経済協力の方向
- 1961年5月23日 韓国の新情勢と日本
- 1961年7月5日 韓国の政変に思う
- 1961年7月11日 ベルリンと朝鮮
- 1961年8月27日 日韓全面会談を前に
- 1961年10月22日 日韓の正常化を望む
- 1961年11月7日 互譲の精神、大局的打算
- 1961年11月12日 日韓会談は合理的に
- 1961年11月14日 中立主義の残滓
- 1962年2月6日 善隣友好への第一歩
- 1962年2月20日 外交路線と世論
- 1962年3月11日 日韓政治会談に望む
- 1962年3月21日 世論に気兼ねする外交
- 1962年3月24日 韓国の政情安定を望む
- 1962年3月27日 外交論の視野と節度
- 1962年7月31日 外交は信念である
- 1962年8月21日 日韓交渉に望む
- 1962年9月2日 日韓国交交渉の好機
- 1962年10月9日 宰相の英断に期待する
- 1962年10月16日 捕われた見方、誤った外交論
- 1962年10月23日 現実外交の実物教訓
- 1962年12月22日 了解に苦しむ漁船捕獲
- 1963年2月19日 韓国の政情と日本の立場
- 1963年2月26日 外交論争における節度
- 1963年3月20日 対韓政策の根本義
- 1963年3月22日 韓国の動揺と日本の太平
- 1963年3月26日 軍政から民政へ
- 1963年4月2日 三本柱、前向き外交
- 1963年4月9日 韓国・合衆国・日本
- 1963年8月2日 歯切れの悪い日韓交渉
- 1963年8月20日 日韓両国間に「新時代」を
- 1963年9月3日 アジア政策と日本の外交
- 1963年11月29日 韓国とその総選挙
- 1964年1月11日 日韓正常化への道
- 1964年2月11日 近隣外交批判
- 1964年3月10日 「国土」の賢慮を求む

- 1964年3月24日 近隣外交の基本線
 1964年3月29日 日韓会談大詰めに暗影
 1964年3月31日 世論と外交
 1964年4月21日 島国外交と近隣外交
 1964年5月12日 韓国の政変と日本の立場
 1964年6月6日 孤立してもよいのか
 1964年6月8日 多難なアジアの民主政治
 1964年6月9日 治乱の契機，外交の要諦
 1964年10月11日 韓国は不法捕獲やめよ
 1964年10月13日 核爆発と李ライン
 1964年10月23日 日韓関係打開への努力を
 1964年11月17日 たくましい外交の新出発
 1964年12月3日 日韓会談の再開に望む
 1964年12月15日 沖縄と韓国をどうする
 1965年2月21日 日韓問題解決はこれから
 1965年2月23日 韓国問題に対処するには
 1965年3月7日 核心に入る日韓漁業会談
 1965年3月28日 妥結をあせる日韓会談
 1965年3月29日 問題残す日韓貿易の妥結
 1965年4月12日 日韓関係改善はこれから
 1965年6月22日 日韓両国関係の新時代
 1965年8月12日 臨時国会を顧みて
 1965年8月17日 国論分裂の悲劇
 1965年8月28日 韓国の政情不安を憂う
 1965年9月26日 日韓批准国会に望む
 1965年9月28日 イデオロギーと外交政策
 1965年9月29日 日韓問題の考え方
 1965年10月6日 「日韓国会」に重ねて望む
 1965年10月13日 議会政治と院外運動
 1965年10月14日 日韓条約への所信表明
 1965年10月19日 外交論戦の座標軸
 1965年10月21日 かみあわぬ日韓論議
 1965年10月26日 慎重審議と引き延ばし作戦
 1965年10月27日 社会党に反省を望む
 1965年11月9日 「慎重審議」の矛盾
 1965年11月13日 日韓案件採決さる
 1965年11月16日 問題の核心と対策
 1965年11月30日 内閣と国会は何しているのか
 1965年12月13日 日韓経済協力に望む
 1965年12月15日 日韓国会を顧みて
 1965年12月19日 日韓新関係の発足

南日本新聞

- 1960年7月31日 中共・韓国との国交
 1960年8月25日 日韓はお互いに反省を
 1961年2月27日 対韓政策に望む（中保与作）
 1961年5月17日 韓国革命のゆくえ
 1961年5月20日 転機に立つ内外情勢
 1961年7月2日 物足りぬ首相の報告
 1961年7月3日 不満の恐ろしい蓄積（野村浩一）

- 1961年7月5日 民生安定を期待する
1961年7月13日 中朝同盟と日本の立場
1961年8月13日 韓国情勢と日韓関係
1961年10月14日 日韓会談再開に望む
1961年11月7日 新局面迎えた日韓交渉
1962年1月7日 日韓の国交正常化を
1962年3月12日 正しい妥結点を見いだせ（和田清好：共同通信論説委員）
1962年3月24日 韓国の政情安定を望む
1962年4月13日 見通し暗い日韓会談
1962年7月27日 新段階迎えた日韓交渉
1962年10月31日 首相所信に2つの疑点
1962年12月7日 首相所信と臨時国会
1962年12月11日 明快でない首相の演説
1962年12月27日 日韓交渉は合理的に
1963年1月29日 日韓交渉には慎重期せ
1963年2月20日 韓国の実体をつかめ
1963年3月19日 対韓外交に筋を通せ
1963年4月10日 韓国政情に関心をもて
1963年4月22日 日韓漁業交渉に望む
1963年7月24日 筋通った日韓漁業交渉を
1963年8月7日 韓国ペースにのるな
1963年10月18日 韓国大統領選挙の意味／日韓交渉は世論に開け
1964年2月6日 日韓漁業交渉について
1964年3月4日 日韓交渉は“拙速”避けよ
1964年3月20日 終盤を迎えた日韓会談
1964年6月5日 韓国情勢を憂える
1964年9月21日 李ラインの出漁に望む
1964年11月17日 日韓交渉の新しい展開
1965年2月12日 外相の韓国訪問に望む
1965年2月21日 日韓基本条約の仮調印
1965年3月11日 漁業交渉は合理性貫け
1965年3月25日 妥結した日韓漁業交渉
1965年4月4日 “日韓新時代”のために
1965年4月18日 心配な韓国の学生デモ
1965年5月17日 韓国の外交信義を正せ
1965年5月29日 アジア外交の基本姿勢
1965年6月19日 外交政策の論議に望む
1965年6月23日 不安を残した日韓調印
1965年8月1日 具体策欠いた所信表明
1965年8月16日 韓国の条約批准と日本
1965年8月28日 韓国学生デモに注目を
1965年9月28日 疑問に答えぬ首相発言
1965年10月5日 日韓批准国会に望む
1965年10月6日 新味欠く首相記者会見
1965年10月12日 日韓批准と国会運営
1965年10月14日 首相所信表明をきいて
1965年10月16日 日韓関係と北朝鮮
1965年10月18日 充実した国会論議を
1965年10月21日 特別委で論議つくせ
1965年10月25日 日韓特別委に注目する

- 1965年11月1日 国民はまだ納得しない
- 1965年11月7日 納得できない強行採決
- 1965年11月13日 国民疎外の日韓採決
- 1965年11月15日 納得ゆくアジア外交を
- 1965年12月5日 失われた国会の威信
- 1965年12月18日 日韓新時代と経済協力

12～13万部以上

東奥日報

- 1960年8月21日 張新首相に期待する
- 1960年10月23日 北朝鮮帰還問題円満に
- 1961年5月18日 不安な韓国の政情
- 1961年7月6日 韓国政変の意味
- 1961年7月9日 ソ連・北朝鮮の条約調印
- 1961年11月7日 日韓会談の転機に望む
- 1962年5月22日 試練に直面の自主外交
- 1963年1月8日 正しい政治姿勢を保て
- 1963年2月10日 “低調国会” に終わらすな
- 1964年3月15日 日韓交渉に筋を通せ
- 1964年6月6日 戒厳令の背後にあるもの
- 1965年1月12日 危険な韓国の南ベトナム派兵
- 1965年3月26日 日韓漁業交渉は妥結したが
- 1965年6月22日 日韓国交正常化の今後
- 1965年9月19日 日韓問題の考え方
- 1965年10月5日 “日韓国会” に望む
- 1965年10月14日 心に響かぬ首相演説
- 1965年11月13日 国会正常化への道
- 1965年12月12日 代償の高い日韓承認

高知新聞

- 1960年8月1日 韓国民民主党に望む
- 1960年8月7日 「新潟会談」に誠意を示せ
- 1960年8月21日 日韓関係の真の正常化
- 1960年8月29日 新潟会談を軌道に乗せよ
- 1960年9月14日 新潟会談を決裂させるな
- 1960年9月19日 いま一度、譲り合う努力を
- 1960年10月10日 日韓予備会談
- 1960年10月11日 あくまでも人道的に考えよ
- 1960年10月18日 日赤案を生かせ
- 1960年10月30日 韓国の自重を望む
- 1960年11月18日 日韓関係の将来
- 1960年12月27日 漁業区域の設定を急げ
- 1961年2月20日 日韓会談進展への条件
- 1961年3月11日 うなづけぬ韓国の請求権解釈
- 1961年4月27日 日韓正常化の機運
- 1961年5月17日 韓国のクーデター
- 1961年5月23日 韓国の道を誤ることを恐れる
- 1961年7月5日 韓国の政変
- 1961年7月8日 極東を冷戦の本舞台にするな

- 1961年 7月13日 軍事同盟の連鎖現象を恐れる
1961年 8月17日 日韓交渉再開の条件
1961年10月 7日 うなずけぬ韓国の会談延期
1961年11月12日 善隣関係への関門
1962年 2月 7日 日韓経済協力を急ぐ空気
1962年 3月11日 日韓会談の順序を誤るな
1962年 3月24日 尹大統領辞任と日本の立場
1962年 8月16日 日韓会談の妥結を望むが
1962年10月 3日 日韓交渉の問題点
1962年11月20日 疑問の多い日韓妥結構想
1962年12月16日 日韓妥結ムード
1962年12月19日 首相の日韓裁断
1962年12月28日 日韓交渉はこれでいいのか
1963年 2月19日 韓国政情と日韓交渉
1963年 3月17日 中止すべき韓国の政情
1963年 4月12日 「民政」への視点
1963年 7月27日 韓国に反省望む
1963年 9月30日 李ラインの暴挙をやめよ
1963年10月17日 朴・新大統領に望む
1963年11月29日 民政韓国の課題
1963年12月17日 第三共和制を迎えた韓国
1964年 1月18日 漁業交渉のスジを誤るな
1964年 2月23日 差の縮まらぬ日韓漁業交渉
1964年 3月10日 日韓高級会談に当たって
1964年 3月14日 日韓交渉の中間報告に望む
1964年 3月20日 期待を裏切る日韓中間報告
1964年 3月31日 朴政権に提言する
1964年 4月 6日 中絶状態にはいった日韓交渉
1964年 5月10日 韓国の政変と経済危機
1964年 6月 7日 金議長辞任と韓国の今後
1964年 6月13日 対韓経済協力を望む
1964年 9月 7日 係船された対韓輸出船
1964年 9月19日 理解に苦しむ韓国の対日硬化
1964年11月29日 日韓会談の本筋
1965年 1月29日 「対韓輸出船」が残したもの
1965年 2月16日 椎名外相の訪韓に望む
1965年 2月21日 問題を残す日韓仮調印
1965年 3月25日 日韓漁業交渉は合意をみたが
1965年 4月 5日 日韓妥結のヤマは越したが
1965年 5月14日 日韓漁業交渉に重大な局面
1965年 6月23日 日韓正式調印と今後の課題
1965年 7月 2日 相次ぐ米国の公海規制法案
1965年10月 2日 院外闘争と議会民主主義
1965年10月 5日 臨時国会の審議に望む
1965年10月14日 「内容より修辭」の所信表明
1965年11月 5日 日韓条約は審議をつくせ
1965年11月 7日 ルール無視の「日韓」採決強行
1965年12月12日 日韓成立と佐藤政府の責任
1965年12月14日 通常国会を顧みて

大分合同新聞

- 1960年8月5日 日韓関係正常化のチャンス
1960年10月19日 わからぬ最近の共産圏外交
1961年5月17日 韓国の急務は経済の安定
1961年5月23日 韓国に早く合憲政府を
1961年7月6日 韓国の政変と日本
1961年8月31日 日韓会談は相互理解から
1961年10月14日 日韓会談に期待できるか
1961年10月20日 日韓交渉に終止符を
1961年11月9日 池田・朴会談への関心
1962年3月10日 日韓東京会談への希望
1962年3月23日 あやしくなった日韓正常化
1962年8月22日 期待したい日韓交渉の成果
1962年10月22日 日韓交渉は妥協を急ぐな
1962年12月28日 請求権問題が妥結しても
1963年2月25日 揺れ続ける韓国の政情
1963年3月27日 混迷する韓国の政情
1963年11月29日 韓国総選挙と日本
1964年3月14日 日韓交渉に希望する
1964年6月6日 苦悩する韓国の情勢
1964年10月22日 日韓関係の打開を
1964年12月3日 再開される日韓交渉
1965年2月15日 進展しつつある日韓交渉
1965年2月22日 前進した日韓関係
1965年3月13日 ヤマ場にきた日韓交渉
1965年3月26日 日韓漁業交渉の妥結
1965年4月4日 日韓交渉の妥結を喜ぶ
1965年6月21日 調印を前にした日韓交渉
1965年6月24日 日韓はまず相互不信感を除け
1965年9月28日 日韓条約批准をめぐって
1965年10月5日 日韓国会を注視する
1965年10月6日 佐藤首相の記者会見
1965年10月14日 佐藤首相の所信表明演説
1965年11月7日 強行された日韓特別委
1965年11月13日 これが国会か
1965年11月16日 参院の審議に望む
1965年12月12日 日韓条約成立と今後の問題
1965年12月17日 今後日韓経済協力のために
1965年12月19日 日韓新時代のスタート